

トップガンR

初・中期一発処理除草剤

1キロ粒剤 豆つぶ250 ジャンボフロアブル

- 有効成分：ピリミノバックメチル…0.45% (1キロ粒剤)、1.8% (豆つぶ・ジャンボ)、0.83% (フロアブル)
プロモブチド…9.0% (1キロ粒剤)、36.0% (豆つぶ・ジャンボ)、17.0% (フロアブル)
ペンシルフロノメチル…0.75% (1キロ粒剤)、3.0% (豆つぶ・ジャンボ)、1.3% (フロアブル)
ベントキサゾン…2.0% (1キロ粒剤)、8.0% (豆つぶ・ジャンボ)、2.8% (フロアブル)
- 人畜毒性：普通物 (毒劇物に該当しないものを指すという通称)

4つの成分で幅広い効果。

トップガンRは各成分がバランスよく配合されており、一年生雑草から多年生雑草まで幅広く安定した除草効果が得られます。

	ノビエ	コナギ	アゼナ類	ホタルイ	ウリカワ	ミスガヤツリ	ヘラオモダカ	ヒルムシロ	オモダカ	クログワイ	シズイ	SU剤抵抗性コナギ	SU剤抵抗性ホタルイ
トップガンR	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ピリミノバックメチル	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
プロモブチド	△	×	◎	△	×	◎	△	×	—	×	△	◎	◎
ペンシルフロノメチル	△	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
ベントキサゾン	◎	×	◎	◎	◎	◎	△	—	△	△	◎	◎	×

表中の◎：著効、○：有効、△：やや不十分な効果、×：不十分な効果、—：評価データなし、を示します。
※1：1キロ粒剤、フロアブルの評価です。 ※2：1キロ粒剤、ジャンボ、フロアブルの評価です。 ※3：1キロ粒剤、豆つぶ、ジャンボの評価です。
*オモダカやクログワイ、コウキヤガラなどの難防除雑草については、本剤の1回使用では完全防除が難しい場合があるので、これらの草種に有効な剤との組み合わせによる体系防除でご使用ください。

プロモブチド90g*でSU剤抵抗性のイヌホタルイを抑えます。

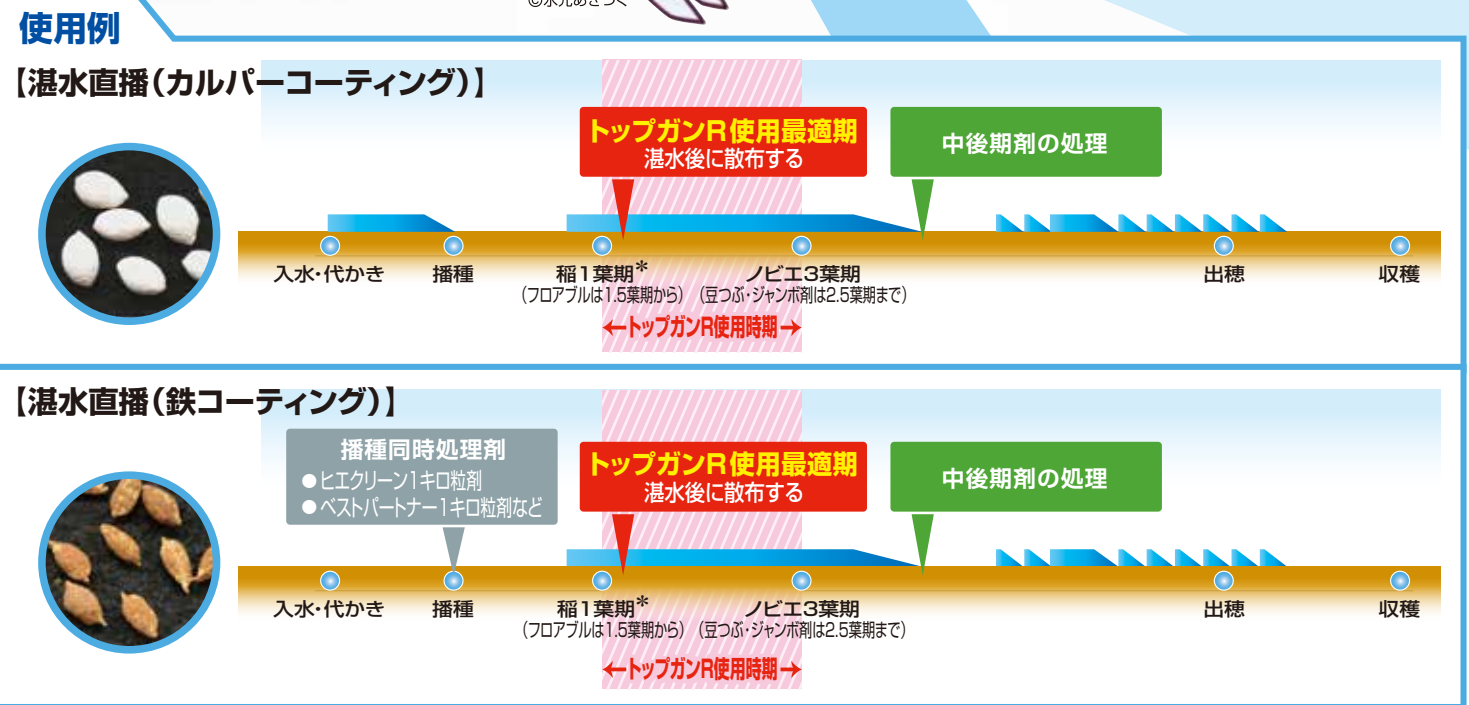


2葉期のホタルイが枯れた様子

直播栽培にもお勧めします。

Question: なぜ直播栽培にトップガンRがお勧めですか？

Answer: 表面播種の稲にも1葉期**以降で安全性が高く、鉄コーティング直播などにも対応。また、3葉期までのノビエや2葉期までのホタルイにも卓効なので、安定した効果が期待できます。
**フロアブルは1.5葉期以降の使用となります。



飼料用米の栽培時にも使用することができます。

*飼料用米専用品種にも慣行の使用法と同じように、ご使用ください。

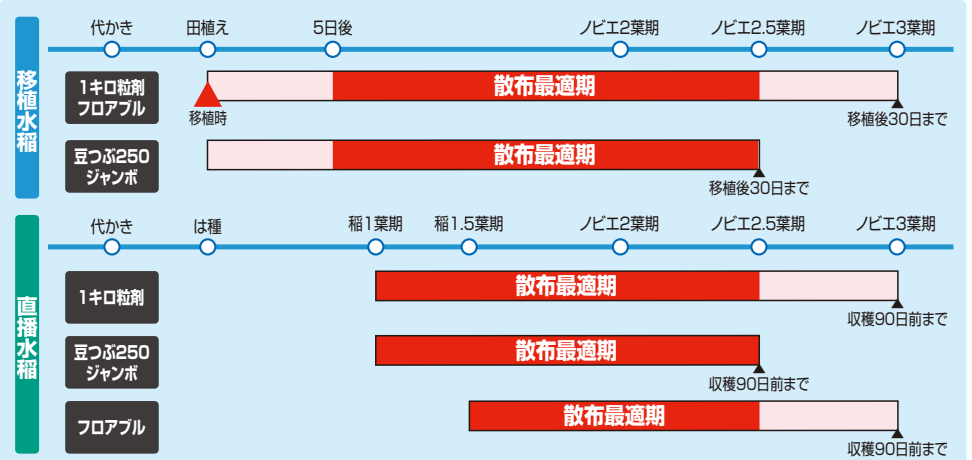
適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1kg	1回*	田植同時散布機で施用 湛水散布
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで	250g	1回*	無人航空機による散布

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	小包(パック)10個(250g)	1回*	水田に小包(パック)のまま投げ入れる
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	500ml	1回*	田植同時散布機で施用
直播水稲	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ	稲1.5葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布

標準的な使用時期



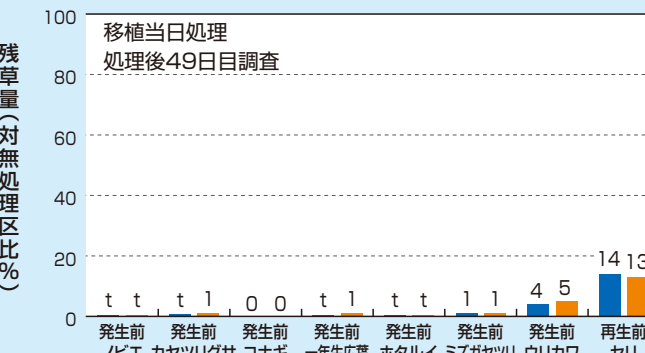
■使用上の注意(抜粋)

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期まで(豆つぶ、ジャンボは2.5葉期まで)に時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリは2葉期まで、ヘラオモダカは2葉期まで(ジャンボは発生始期まで)、オモダカは発生始期まで、クログワイは発生始期まで(フロアブルは発生前)、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さないのが、有効な後処理剤と組み合わせてください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業は、ていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けてください。
 - 軟弱な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
 - 直播水稲に使用する場合は以下に注意してください。
 - 発芽直後の稲に対して薬害が生じるおそれがあるので、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降(フロアブルは1.5葉期以降)に散布してください。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用を避けてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
 - 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められません。
 - 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に湛水しないで行ってください。
 - 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
 - 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育中に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 【1キロ粒剤】
 - 散布の際は、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
 - 【豆つぶ250・ジャンボ】
 - 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)で水の出入りを止めてください。
 - 【豆つぶ250】
 - 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
 - 薬類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁部散布を避け、本田内で水田全面に散布してください。
 - 本剤は吸湿性があるので、濡れた手で作業したり、降雨で濡れることがないように注意してください。また、開封後は早目に使用してください。
 - 本剤を無人航空機で散布する場合は次の事項に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置の角度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 - 水源地、飲料用水等に本剤が流入しないよう十分に注意してください。
 - 【ジャンボ】
 - 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
 - 本剤は小包(パック)のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
 - 薬類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、使用は避けてください。
 - パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破損することないように注意してください。
 - 【フロアブル】
 - 散布の際は、湛水状態(水深3～5cm)で水の出入りを止めて散布してください。また、極端な浅水や深水での使用は避けてください。
 - 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないように注意し、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
 - 畜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようご注意ください。
 - 散布器、ホース、ノズル、タンク等の器具は使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理してください。また、使用した機器等は水稲用薬剤以外に使用しないでください。

委託試験成績

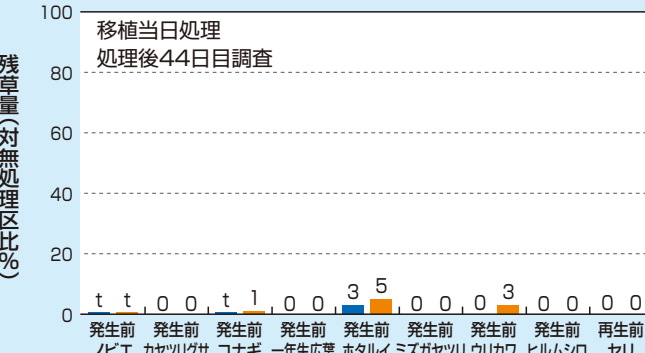
トップガンR1キロ粒剤とトップガンGT1キロ粒剤51

■三重県農業研究所 伊賀農業研究室

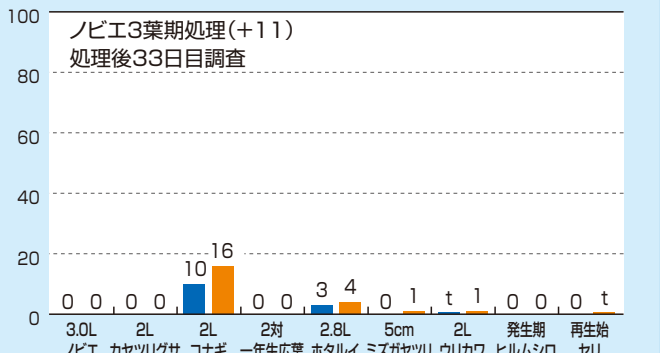
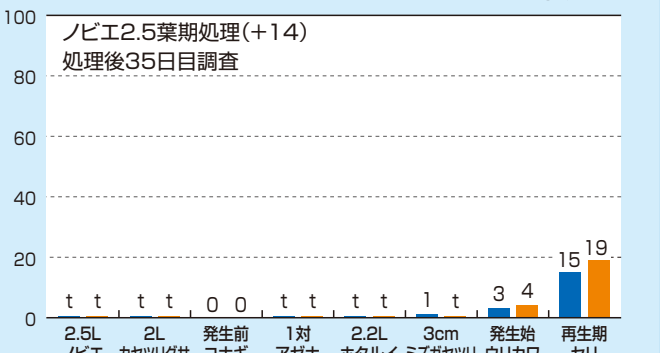


- 試験場所：三重県農業研究所伊賀農業研究室(三重県伊賀市)
- 試験規模：9m²・3反復
- 土質・土性：沖積・塩漬土
- 作期・栽培法：早期・育苗機械移植
- 供試品種：三重23号
- 移植時葉齢：2.0葉
- 播代日：2020年4月15日
- 移植日：2020年4月20日

■日植調牛久試験地



- 試験場所：日本植物調節剤研究協会牛久試験地(茨城県牛久市)
- 試験規模：4m²・3反復
- 土質・土性：火山灰・軽塩土
- 作期・栽培法：普通期・育苗機械移植
- 供試品種：コンヒカリ
- 移植時葉齢：2.0葉
- 播代日：2020年5月22日
- 移植日：2020年5月25日



グラフ内の数値は残草量(対無処理区比%)を示し、tは1%に満たない残草量を示す。